



地域安全ニュース

平成28年4月号

みんなで作ろう安全安心のまち

～犯罪・交通事故のない社会の実現を～

一般住宅を狙った泥棒被害が増加!!

一般住宅を狙った屋内盗の手口として、3つに分けることができます。

- ① 空き巣・・・留守宅に侵入するもの
- ② 忍び込み・・・就寝時に侵入するもの
- ③ 居空き・・・在宅時に侵入するもの



この3つのうち奈良県内では忍び込みの被害が多発しています。

忍び込みの被害にあったほとんどの家が、無施錠の窓や勝手口、お風呂場などから室内に侵入され、現金などが盗まれています。

～～～☆忍び込み対策☆～～～

- 玄関、勝手口、浴室・洗面所の窓、トイレの窓など狙われやすいところには、破壊工作に強い錠前に替えるとともに補助錠を取り付ける。補助錠は外部から見えないように取り付ける。
- 寝る前には必ずもう一度戸締まりを確かめる。
- 2階、3階といえども窓を開けっ放しで寝ない。
- 勝手口の側や侵入口になりそうな場所には人感ライトを取付け、不審者を検知すると明かりがつくようにする。

忍び込みの恐ろしいところは、「自分・家族が家に居るときに侵入している」点です。

万が一、物音に気づいて目が覚め、泥棒と鉢合わせという最悪の事態も考えられますし、そのまま居直り強盗になる可能性もあります。

もしも不審な人物をみたり、物音を聞いたりした場合は自分だけで解決しようとせず、

110番で警察へ連絡してください。

香芝市生活安全推進協議会